

赤そば（高嶺ルビー）の町・箕輪発 地域ブランドづくりプロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

日本における赤そば（高嶺ルビー）栽培発祥の地である箕輪町が、町のシンボルとして、赤そばを独自ブランド化し、さらには、農業と観光を融合した新産業（グリーン・ツーリズム）を創出し感動体験を提供する事業を構築する。

事業内容

- 赤そばの里拡充および・ブランド化に向けたワークショップを開催し、将来構想を検討
- ブランドの確立のため、赤そばの里のロゴマークをデザインし今後のイメージアップに繋げる
- 景観形成事業として赤そば種子の配布や休憩用ベンチの設置（7基）による環境の整備を行なう



事業効果

- 赤そばの里の拡充構想・ブランド化に係る住民ワークショップを3回開催し、延べ71人の参加をいただき、専門家による将来あるべき姿を具体的なイメージまで、作成することができた。また、住民の共通認識が醸成することができた。
- 赤そばの里のブランドを確立するための高嶺ルビーの種子の更新、ロゴマークを作成し、イメージアップのための有効な手段を創出することができ、今後の全国展開の足がかりとなった。
- 環境整備として、休憩用ベンチ、案内板を設置し、来訪者へのおもてなしの環境が整った。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

赤そばの里拡充ワークショップでその目的、人材づくり等の具体的な課題と将来像が具体化できたので、この構想を基本として引き続き周辺環境の整備を行ないながら、独自の地域ブランドを確立し、グリーンツーリズムを中心とした体験観光の核として展開させ、赤そばの町・箕輪を全国に発信していきたい。

【選定のポイント】

住民が参加して将来ビジョンを策定するなど、今後の更なる発展が期待できる。

団体名 箕輪町	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 箕輪町産業振興課 (電話 0265-79-3111)	事業費	4,988,752円
	支援金額	4,760,000円